第　６５号
令和2年6月21日
編集責任者　田邊　朋之

清里農連通信

発行　清里町農民連盟
清里町羽衣町2番地
TEL　0152-25-3792
FAX　0152-25-3793

第2回執行委員会　要旨

蒔き付け作業が一段落した5月28日に第2回執行委員会を開催し、令和2年度における運動方針を基に課題と対策について協議を行いました。新型コロナウイルスの影響で道農連、北見地区で予定されていた中央要請行動や各種事業については中止または延期となっており、農政関連の議題が少ない状況であった為、町内対策を中心に協議が行われました。

町内対策の重要課題になっている鳥獣被害対策、シロシスト対策、道路維持、国有林対策等、昨年度までの経過を踏まえ今年度の運動を具体的にどのようにしていくかを話し合いました。

鳥獣被害対策

今春もエゾシカを筆頭に農作物への食害が頻発し甚大な被害が後を絶たない状況で、駆除の強化、電牧柵などの設置への助成や助成条件の緩和、大型の囲い罠などによる生息数の減少（鳥獣被害対策三本柱）を引き続き農協、町、関係機関への要請を行うとともに、十分な予算の確保を求めていく事を確認しました。囲い罠については町も前向きに検討したいという事で、今年度に監視カメラを設置しエゾシカの生息状況を調査するとの事ですが、事業化するまで要請をしていく事とします。

シロシストセンチュウ対策

蔓延拡大を防ぐためにも正確な情報収集や緊急防除対象地域を大字よりも小さな単位に防除区域を見直すことができることとされたことから、生産者の負担軽減を図るためにもオホーツク総合振興局など関係機関に対し要請を行っていく事とします。

道路維持対策

H30年から3か年計画で始まった町独自の支障木の伐採事業はR2年の本年が最終年になっている事から、未だ支障木に悩まされている盟友も多く、事業の継続を要請し支障木伐採の進捗状況の把握を行っていく事にします。

国有林対策

H31年から網走南部管理署と打ち合わせを行っており、国有林と畑の境界整備全体調査業務の入札中。

耕地実測

6月2日～5日の間で農作物作付実測が行われ、今年度も農連執行委員が各集団の実測副班長として参加しました。

実測の集計結果は耕作面積8,399ha うち、主要3作では澱原馬鈴薯1,933ha 甜菜 2396ha　麦類 2727haとなりました。

昨年より澱原馬鈴薯が約50haほど減少してしまいましたが、その他2作は昨年同様の面積でした。

今年の春作業も順調でしたが、低温、水不足などがあり作況は平年並みで推移しています。

今後の天候回復に期待したいと思います。　　5集団　吉田　哲也

6月3日に局長と共に5集団の実測に参加してきました。測って歩き2時間ほどで終了しました。他の集団に行くことがなかったので会話したりするのはとても新鮮でした。　　8集団　谷澤　昌浩

熊出没情報

6月14日18時30分ごろ17号14線で熊と遭遇（下写真）、15日には23号13線14線間にて足跡が確認されました。見かけた場合は清里町役場産業建設課0152－25－2153まで。

もし、家、車庫の周りに出没して土日の場合など緊急の場合は清里町役場代表25－2131へ連絡してください。清里町ホームページにも対応方法が掲載されているので今一度ご確認ください。



編集後記

とうとう家の裏にも鹿が来るようになり山と町の境界線の近づきを実感しています。農業と自然環境は密接な関りがあり野生動物、昆虫、木々などどう共存していくのか、また、気候変動の対応など2020年代はどんな10年になるのでしょうか？　　田邊